

# 【春日市認知症ケアパス】 認知症の進行と対応、受けられるサービス

		認知症の疑い(MCI)	ひとりで生活ができる(初期)	見守りが必要(初期)	手助け・介護が必要(中期)	常に介護が必要(後期)
本人	様子・症状など	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 最近のことを忘れるようになる</li> <li>□ 新しいことが覚えられず、同じことを何度も「言う」「問う」「する」</li> <li>□ 新しい場所への外出などが難しい</li> <li>□ 料理・片づけ・計算・運転等ミスが多くなる</li> <li>□ 趣味や好きなテレビ番組に興味を示さない</li> <li>□ 何をするのも億劫がり嫌がる</li> <li>□ ささいなことで怒りっぽくなり、周りへの気づかいがなくなった(頑固になる)</li> <li>□ 服装など身の回りに無頓着になった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 物のしまい忘れ・置き忘れが増えいつも探し物をしている</li> <li>□ 出来事を忘れる</li> <li>□ 約束の日時や場所を間違える</li> <li>□ 買い忘れが目立ち、何度も買い物に行く(同じ物が必要以上にある)</li> <li>□ 飲み忘れが目立ち残薬が増える</li> <li>□ 以前行ったことのある外出先から自宅に戻れず迷うことが増える</li> <li>□ 日付や自分の年齢が正確に分からない</li> <li>□ 小銭での支払いができない</li> <li>□ 出来事の前後関係が分からない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 直前のことを忘れる</li> <li>□ 内服したことを忘れる</li> <li>□ 季節や場所が分からない</li> <li>□ 季節に合った服が選べない(季節や朝夕の判断が間違えるようになる)</li> <li>□ 慣れた道や外出先から戻れなくなる</li> <li>□ 昼夜逆転している</li> <li>□ 買う判断がつかず必要な買い物ができない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 親しい人や家族の名前を忘れる</li> <li>□ 着る順序が分からない</li> <li>□ トイレを失敗する</li> <li>□ ボタンを掛けられない</li> <li>□ 顔や身体がうまく洗えない</li> <li>□ 歯が磨けない</li> <li>□ 箸の使い方が分からない</li> <li>□ 表情が乏しい</li> <li>□ 家に帰れない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 歩行が困難になる</li> <li>□ 移動時に車いすの介助が必要になる</li> <li>□ ベッド上での生活が中心になる</li> <li>□ 言葉によるコミュニケーションが難しい</li> <li>□ 誤嚥(ごえん)・肺炎をおこしやすくなる</li> <li>□ 親しい人や家族の顔を忘れる</li> <li>□ 食べ物ではないものを口に入れる</li> </ul>
	できること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣病予防等の健康管理を行う</li> <li>・体調が変化した時は病院を受診し、治療を受ける</li> <li>・家庭内で本人ができる範囲の役割を持ち、継続していく(自分のことは自分で行う)</li> <li>・地域行事やボランティア、趣味等の活動に参加する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長年の習慣に合わせ、落ち着く生活の流れを継続する</li> <li>・自分でできることは工夫しながら続けていく</li> <li>・自分で何か変化を感じたら、かかりつけ医等に相談する</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・周囲に手伝ってもらいながら、できることや得意なことを続ける(例：趣味活動、孫に会う、隣人とお茶する等)</li> <li>・必要なサービスや支援を受けながら、自分らしく過ごす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全な居住環境を作る</li> <li>・ケアマネジャーや医療・介護のスタッフと連携し、気持ちよい日々を過ごせるようにする</li> <li>・介護を充実させ、必要な医療処置を受ける</li> </ul>
		認知機能は維持しているが、時折、これまでとは違った様子が見受けられる時期	徐々に手助けが必要かもしれないと家族等が感じ始める時期	本人の言動に振り回され、家族等のストレスが増大するリスクがある時期	常時介護に追われる状況となるので、ストレスを解消する機会も持ちながら過ごしていく時期	現状を受け止め、対処していく時期
家族	心構えとできること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会参加できるよう働きかける(閉じこもらない生活を続けること)</li> <li>・認知症や介護について情報を集める</li> <li>・いつもと様子が違うと思ったら、かかりつけ医や専門医、地域包括支援センターへ相談する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症の症状や認知症患者への接し方について情報収集する</li> <li>・本人が落ち着く環境を一緒に整える</li> <li>・家族間で介護について話し合っておく</li> <li>・地域包括支援センターやかかりつけ医などに相談し、介護保険サービス等利用の準備をする</li> <li>・一人で抱え込まないで、親族・友人や近所の方等に相談し、理解や協力を得られるようにする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護は、長い目でみることを心掛け、家族側が体調を崩さないようにする</li> <li>・ケアマネジャーなどと相談しながら介護保険サービスを活用する</li> <li>・気になることや困ったことがあれば、ケアマネジャーや医療・介護のスタッフなどに積極的に相談する</li> <li>・頻回に外出先で迷う場合は、「認知症高齢者等事前登録制度」に登録する(受付窓口：市高齢課)</li> <li>・専門医療機関を受診して、対応に苦慮する症状や合併症状の治療などに対処する</li> <li>・今後のことについて検討し、必要に応じて施設に関する情報を収集する</li> <li>・人生の最終段階のケアについて、早い段階で医師やケアマネジャー等に相談する</li> </ul>		
本人・家族を支援する主な制度やサービス等	相談窓口	市役所(高齢課)、地域包括支援センター、認知症地域支援推進員、認知症初期集中支援チーム				
	医療	かかりつけ医				
		ものわずれ相談医、福岡県認知症医療センター				
	予防	介護予防教室				
		ふれあい・いきいきサロン、地区カフェ、シニアクラブ				
	家族への支援	春日市介護を考える家族の会「ひだまりの会」、認知症カフェ				
	生活支援	地域での見守り、民生委員、社会福祉協議会、認知症サポーター				
		生活支援(食事の宅配サービス、家事サービス、見守り・安否確認サービス) 消費生活センター、福祉あんしんサービス 成年後見制度				
介護福祉	居宅介護支援事業所(ケアマネジャー) 訪問サービス(ホームヘルプなど)、通所サービス(デイサービスなど)、短期宿泊サービス(ショートステイなど)、小規模多機能型居宅介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護					
住まい	自宅 福祉用具、住宅改修、住宅改造 サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホームなど グループホーム 特別養護老人ホーム					